

各都道府県介護保険担当課 御中

介護保険最新情報

vol. 6

平成11年9月10日

厚生省介護保険制度実施推進本部

* 管下市町村に速やかにFAX送信いただきますようよろしくお願いいたします。

9月9日付け日本経済新聞掲載記事について

- 9月9日付け朝刊に「介護サービスについて厚生省が新たな数値目標を盛り込んだ5か年計画を策定する。」として、ヘルパー1.5倍などの数値目標の記述がありますが、そうした方針を決定した事実はありません。
- 新ゴールドプラン後の介護サービスに関する長期計画については、現在作業が進められている都道府県・市町村ベースの介護サービスの整備目標の策定結果を踏まえて、その取扱いを検討することとしています。

介護充実へ新目標

厚生省が
5カ年計画
ヘルパー1.5倍

介護サービスの整備目標

	現行プラン (90— 99年度)	新5カ年計画 (2000— 2004年度)
▼在宅サービス ホームヘルパー	17万人	1.5倍の25万人 前後体制へ
▼施設サービス 特別養護老人ホ ーム 老人保健施設	29万人分 28万人分	増加数を5万— 8万人分に抑制
グループホーム	目標なし	目標を設定し普 及後押し

「在宅」重視の姿勢

厚生省は介護サービスを充実させるため、今年度で終わる新ゴールドプラン(高齢者保健推進計画)に続いて、新たな数値目標を盛り込んだ5カ年計画を策定する。来年度からの介護保険導入で介護サービスの需要増に備える。二〇〇〇—二〇〇四年度に介護するホームヘルパーの数を今年度末時点の一・五倍以上増やし、在宅介護重視の姿勢を鮮明にする。コストのかかる特別養護老人ホームや老人保健施設は五万—八万人分、一割程度の増加にとどめる。在宅までに具体的な数値目標を設定する。ゴールドプラン(参考)

現在の新ゴールドプランの政策目標が今年度末に達成見込みの認識だった。しかし介護保険制度が始まるに介護サービスの利用需要が急増すると見込まれ、新たに整備目標の設定は必要と判断した。自民党公明両党

厚生省は介護サービスを充実させるため、今年度で終わる新ゴールドプラン(高齢者保健推進計画)に続いて、新たな数値目標を盛り込んだ5カ年計画を策定する。来年度からの介護保険導入で介護サービスの需要増に備える。二〇〇〇—二〇〇四年度に介護するホームヘルパーの数を今年度末時点の一・五倍以上増やし、在宅介護重視の姿勢を鮮明にする。コストのかかる特別養護老人ホームや老人保健施設は五万—八万人分、一割程度の増加にとどめる。在宅までに具体的な数値目標を設定する。ゴールドプラン(参考)

現在の新ゴールドプランの政策目標が今年度末に達成見込みの認識だった。しかし介護保険制度が始まるに介護サービスの利用需要が急増すると見込まれ、新たに整備目標の設定は必要と判断した。自民党公明両党

く三回にわたるうちに人数が一・五倍以上に増える。東京に向け、離島や山村など民間参入が見込みにくい地域でヘルパーを養成する民間事業者向けに補助制度を新設する。相次援助業務を担う在宅介護支援センターなど支援施設の整備も併せて進める。

介護保険料の高額を抑えるためのコスト削減も。施設介護の比重は引き下げる。特別養護老人ホームや老人保健施設は現行計画で約六十万人分が整備される見込み。新計画は今後五年間で増える高齢者人口の二—三割に当たる五万—八万人分の整備にとどめる。

自立を促す施設は普及を後押しする。痴呆症患者が介護職員に見守られて共同生活する「グループホーム」などについて新たに目標を設定する。其介護認定で自立可能な状態に達して特別養護老人ホームなどから

退所を迫られる高齢者の受け皿施設の整備も盛り込む。具体的な数値目標や事業費は市町村が将来の介護サービスの必要量を見込む介護保険事業計画が出そろった十月から検討に入る。